

未来を描く資産づくりセミナー  
～ 一歩進んだ資産運用を学ぼう！ ～

## 第1回

# 将来に備えるライフプランと3大資金

～住宅・教育・老後を見える化して安心設計～

FP相談 エニーライフラボ

L I F E

## 本日の内容

1. 人生100年時代・ライフイベントと必要資金
2. 人生の3大資金
3. 家計チェックとライフプラン
4. 資産運用とは
5. まとめ

ポイント：資産運用の第一歩は家計状態を把握し、目標を明確にすることから

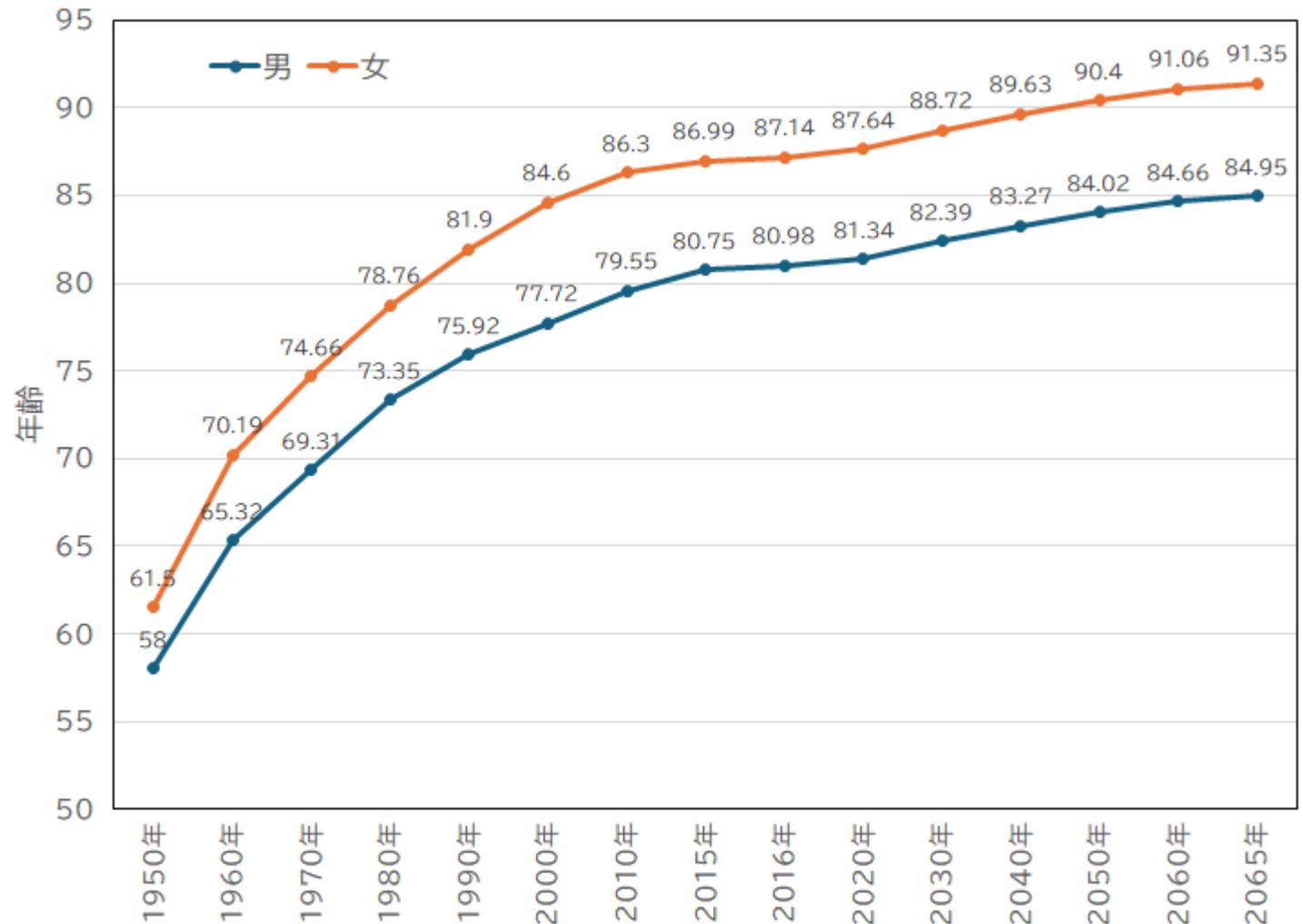
# 長寿リスクと老後資金

長寿リスクとは

長生きすることによって、定年後の生活費や医療費、介護費用などの負担により、老後の生活に備えた資金が足りなくなり生活が経済的に困窮する事態のこと

男性の平均寿命は81.09年、  
女性の平均寿命は87.13年

(厚生労働省調べ 2024年度)



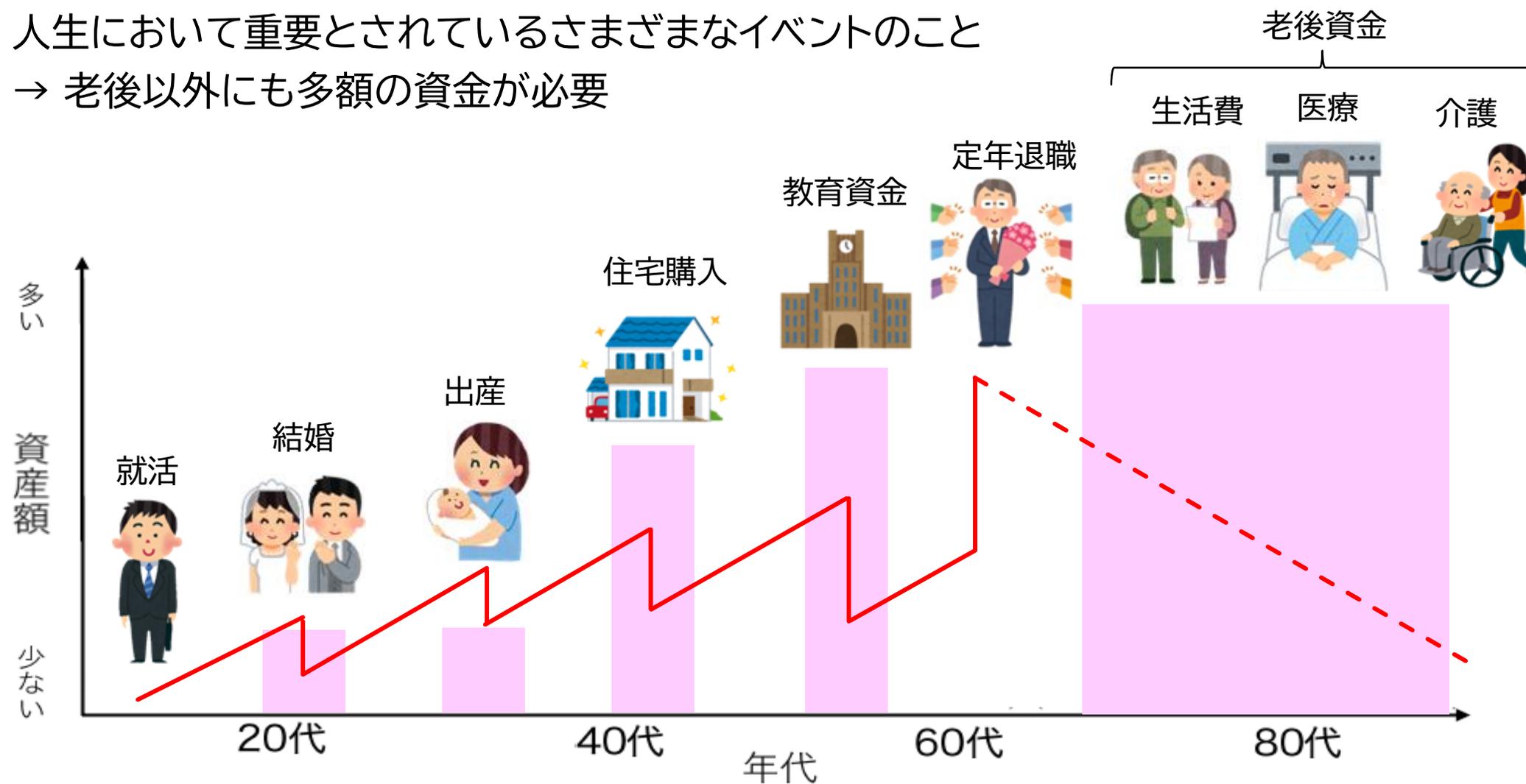
人生100年時代の老後資金づくりのための「資産運用」が注目されているが・・・

# ライフイベントと必要資金

ライフイベントとは？

人生において重要とされているさまざまなイベントのこと

→ 老後以外にも多額の資金が必要



# いくら必要？

LIFE EVENT 1

就職活動費  
約**8**万円



LIFE EVENT 2

結婚費用  
約**327**万円



LIFE EVENT 3

出産費用  
約**48**万円



LIFE EVENT 4

教育資金  
約**1,097**万円



LIFE EVENT 5

住宅購入費  
約**3,719**万円~



LIFE EVENT 6

老後の生活費  
約**27**万円/月~  
9,720万円(30年)



老後資金

LIFE EVENT 7

介護費用  
約**18**万円/月  
1,098万円(61月)



LIFE EVENT EX

緊急資金  
約**60**万円



1. 人生100年時代・ライフイベントと必要資金
2. 人生の3大資金
3. 家計チェックとライフプラン
4. 資産運用とは
5. まとめ

# 人生の3大資金とは

## (1)住宅資金

住宅を取得する為の資金で、およそ3,000～6,000万円ほど。  
頭金を用意し、残りを30年程度のローンを組む方が大半。



## (2)教育資金

幼稚園から大学までの学費だけでも、全て公立の場合約400万円、  
全て私立の場合は約830万円が必要



## (3)老後資金

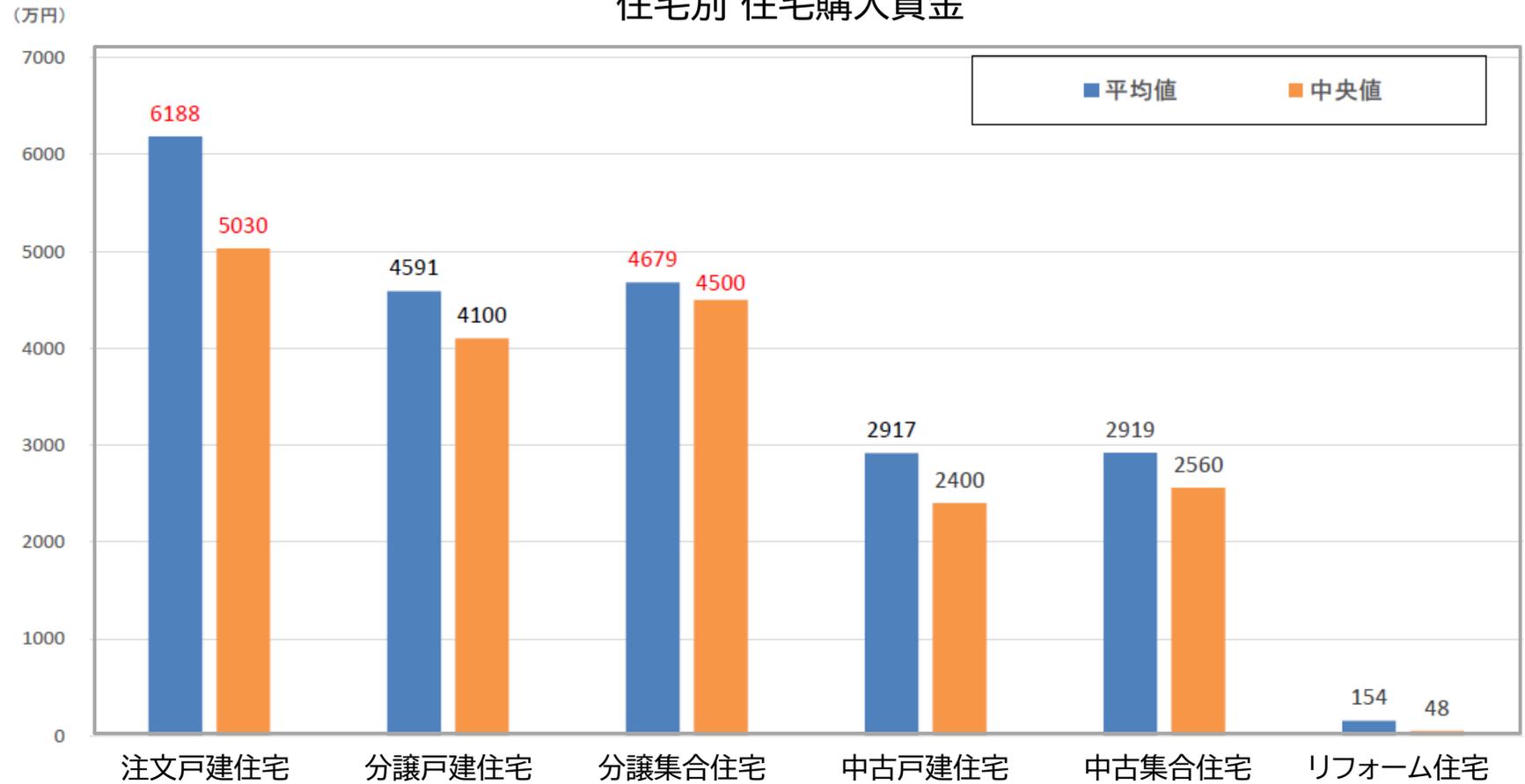
豊かな老後を過ごす為には、年金だけでは足りず、およそ  
1,000万円～2,000万円程度の資金を準備する事が必要



# (1)住宅資金



住宅別 住宅購入資金

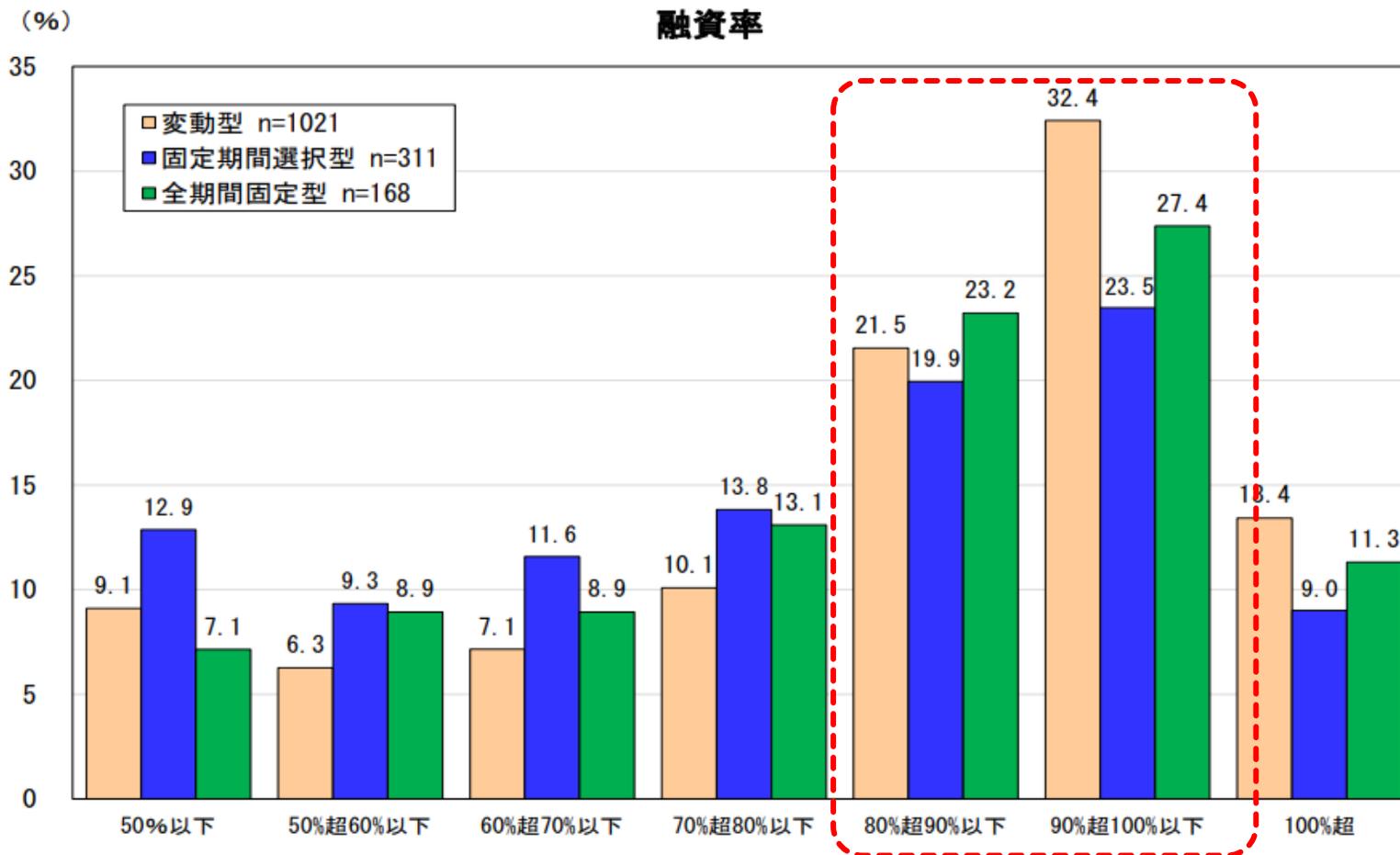


国土交通省「令和6年度 住宅市場動向調査」

新築住宅で4,000～6,000万円程度、中古住宅で3,000万円程度の資金が必要  
 →大半の方は住宅ローンを利用

# 頭金はどの位準備すれば良い？

融資率：住宅の購入価額に占めるローンの割合

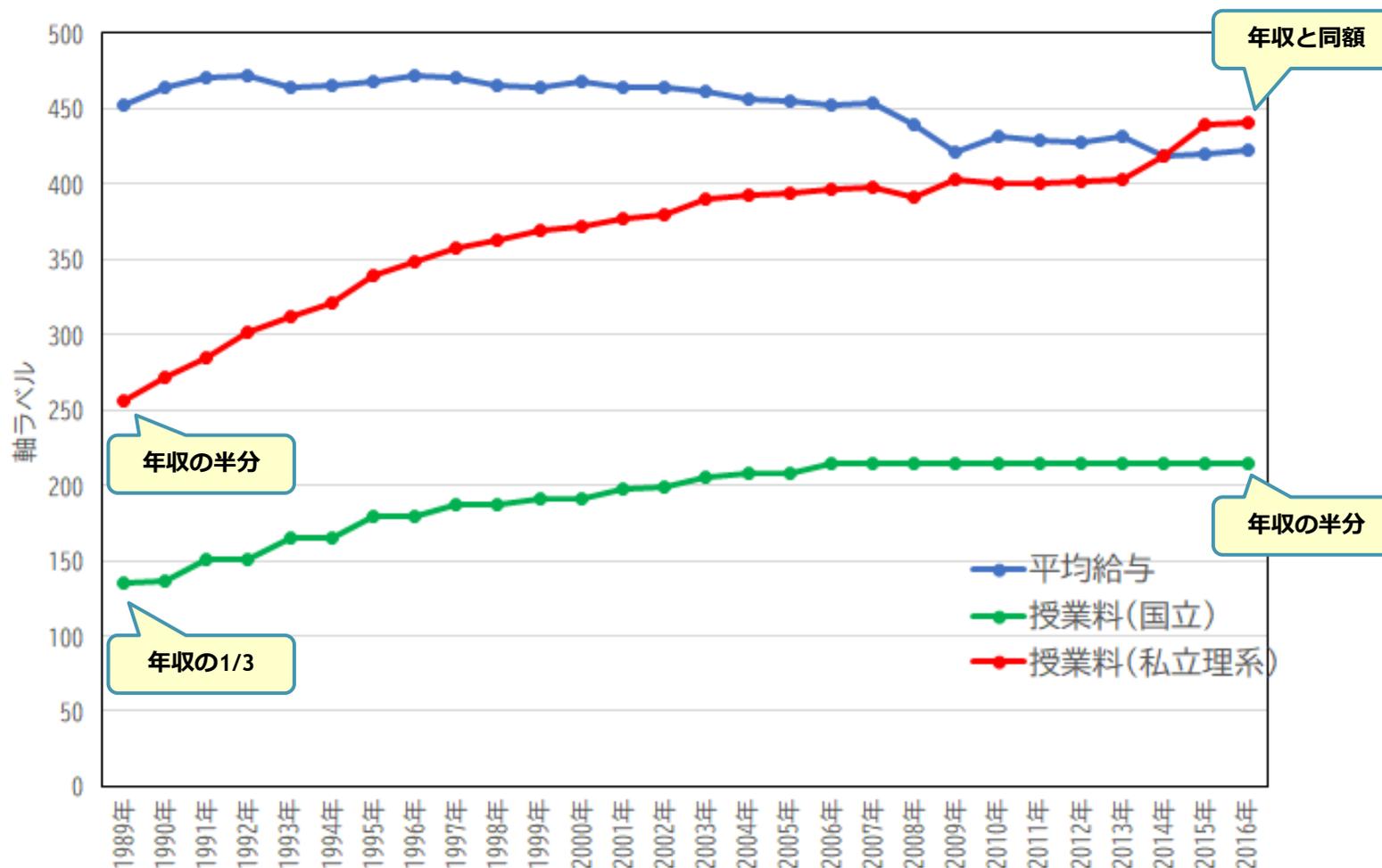


5,000万円の住宅購入  
の場合の頭金は  
10% → 500万円  
20% → 1,000万円

多ければ多いほど良い、大半の方は住宅購入価額の20%以下の頭金で購入している

## (2)教育資金

平均年収と大学授業料(4年間)推移

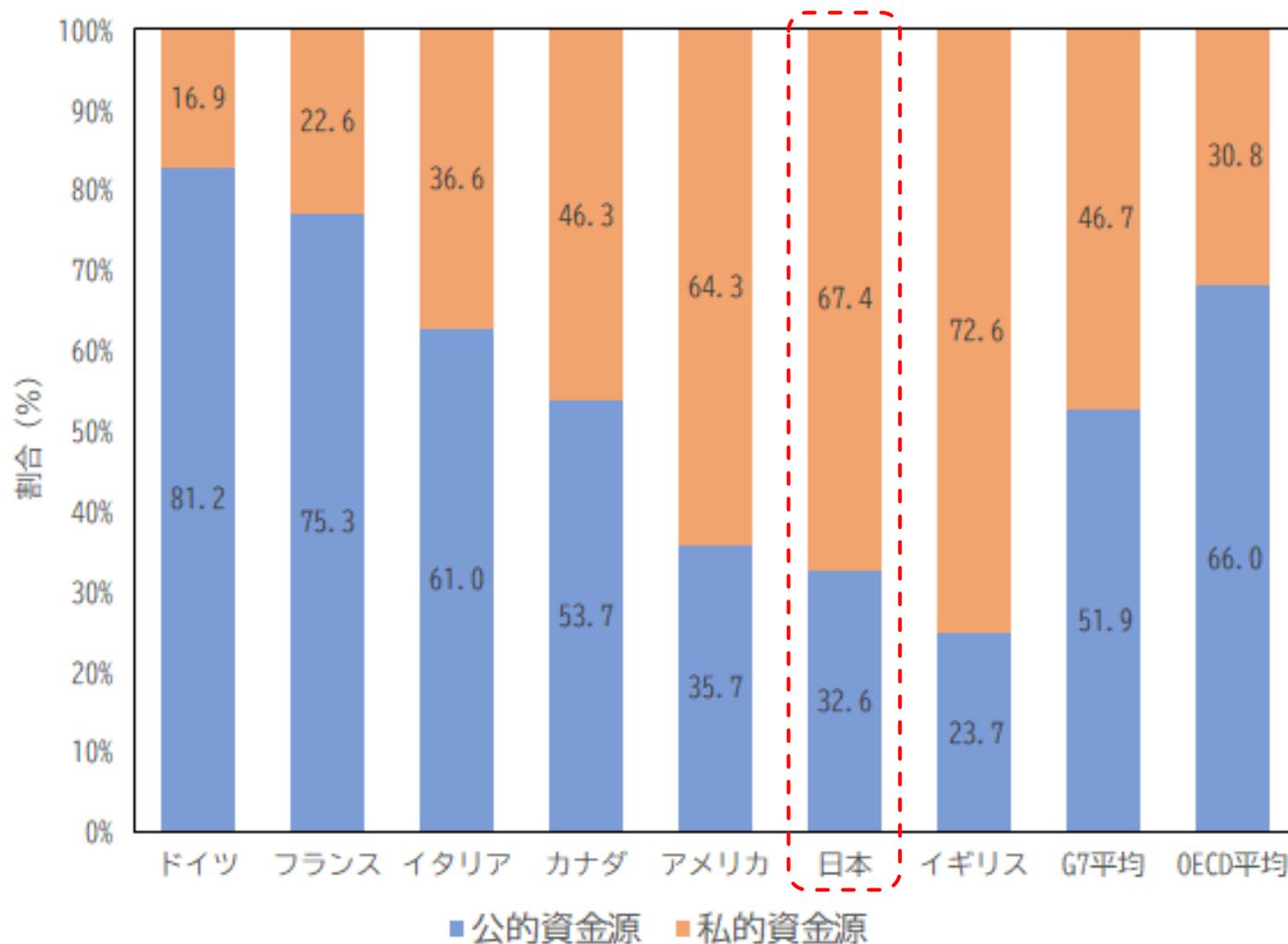


給与は上がらず・・・教育費は年々上昇傾向

# 主要国の高等教育における資金源内訳(国際比較)

日本では  
教育費の7割を自己負担で  
準備する必要がある

	公的資金源	私的資金源
ドイツ	81.2	16.9
フランス	75.3	22.6
イタリア	61.0	36.6
カナダ	53.7	46.3
アメリカ	35.7	64.3
<b>日本</b>	<b>32.6</b>	<b>67.4</b>
イギリス	23.7	72.6
G7平均	51.9	46.7
OECD平均	66.0	30.8

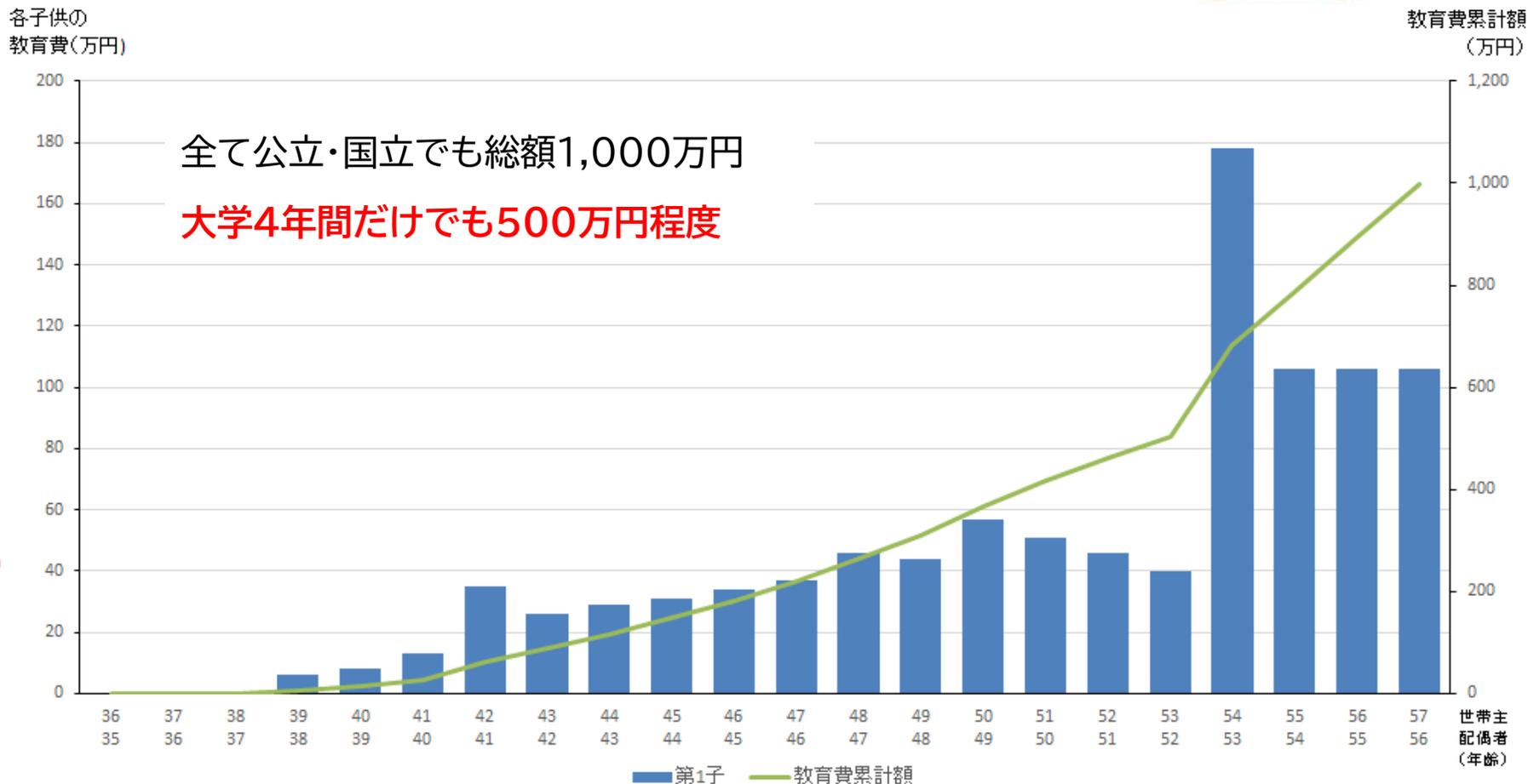


# 教育費のシミュレーション結果1：子供1人、費用最小



## 前提条件)

- ・ 年少未満 : **自宅**
- ・ 保育園 : **認可**
- ・ 小学校 : **公立**
- ・ 中学校 : **公立**
- ・ 高校 : **公立**
- ・ 大学 : **国立**  
(自宅通学)

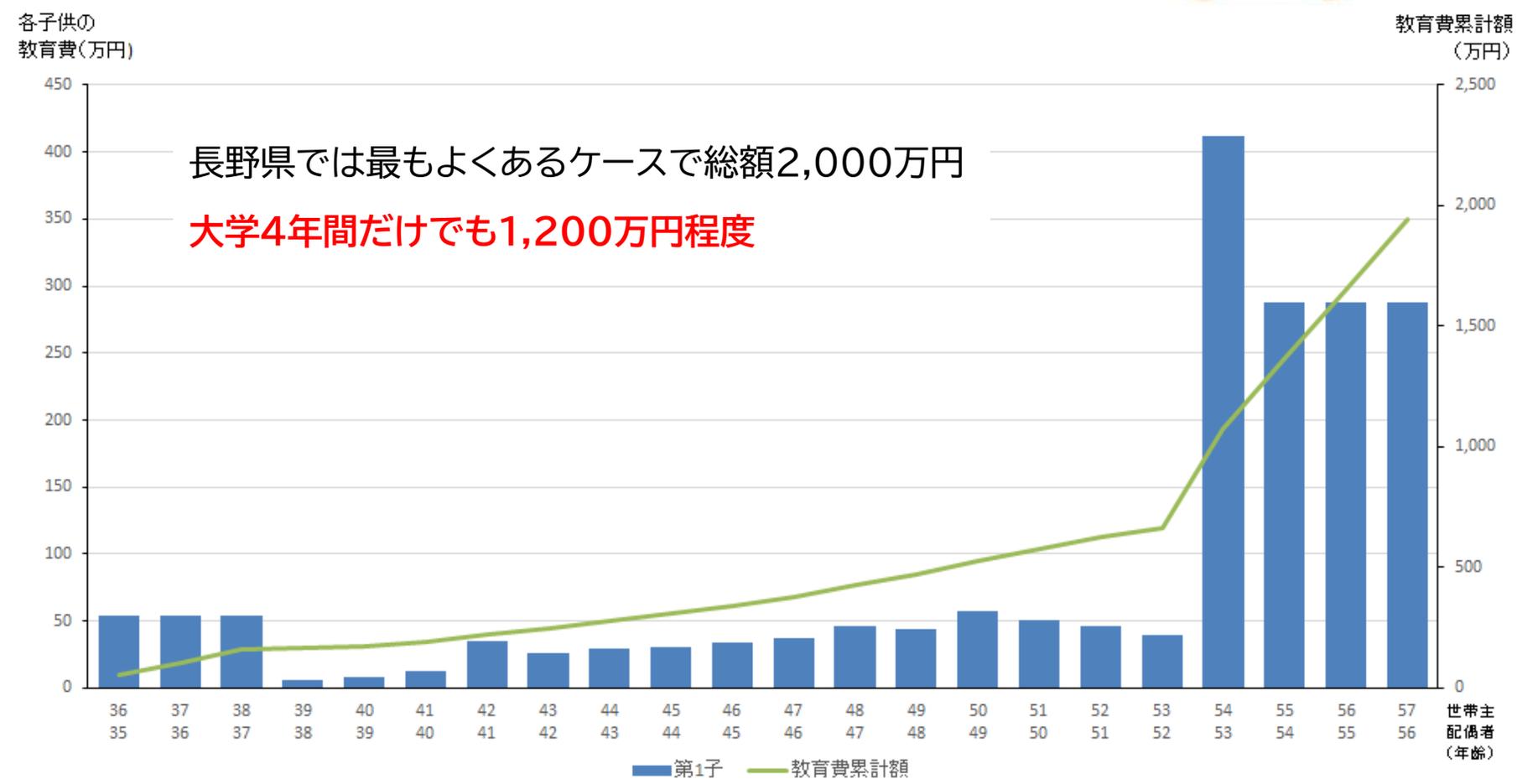


# 教育費のシミュレーション結果2: 子供1人、最もよくあるケース



## 前提条件)

- ・ 年少未満 : 認可外
- ・ 保育園 : 認可
- ・ 小学校 : 公立
- ・ 中学校 : 公立
- ・ 高校 : 公立
- ・ 大学 : 私立  
(自宅外通学)

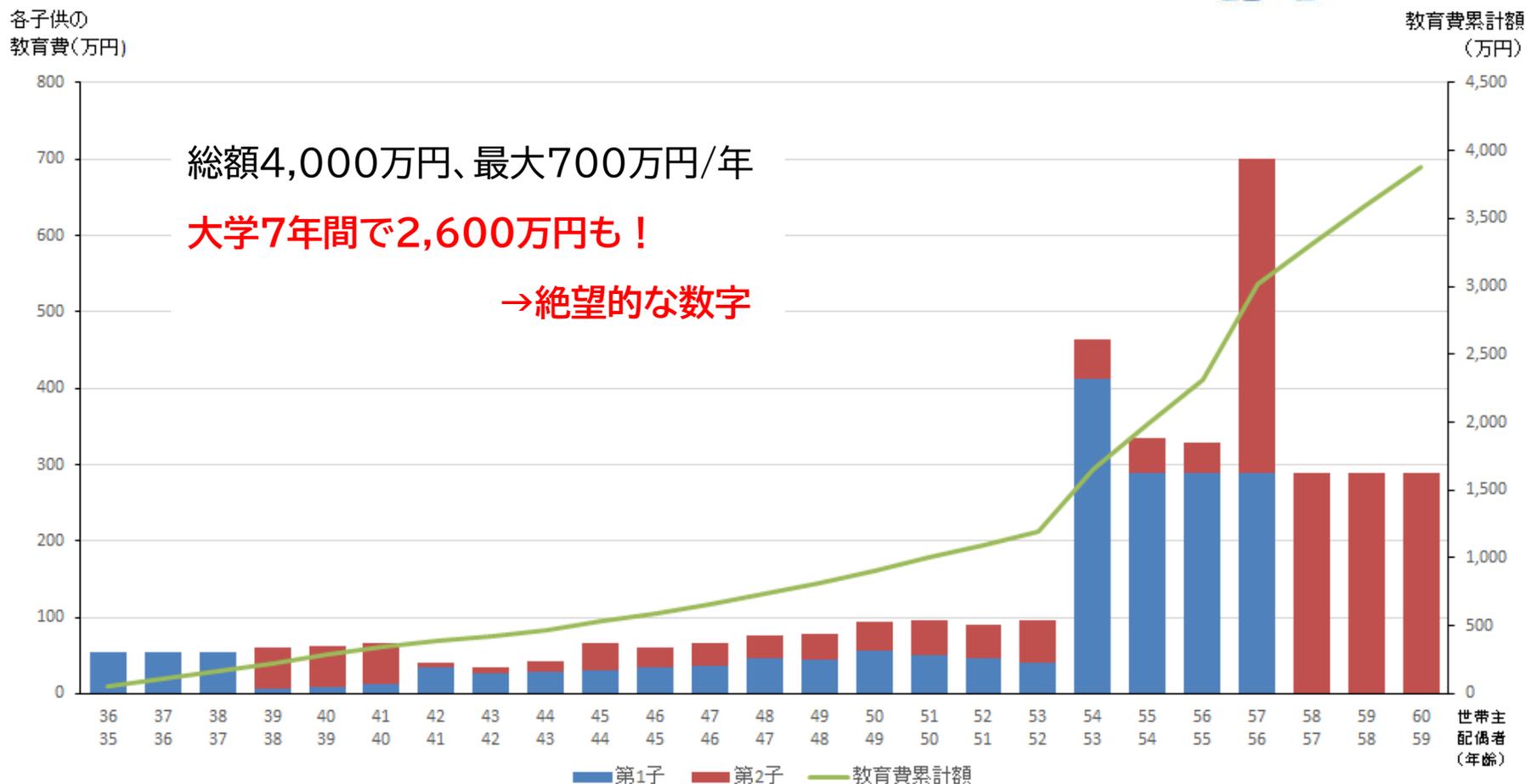


# 教育費のシミュレーション結果3：子供2人、3歳違い



## 前提条件)

- ・ 年少未満 : 認可外
- ・ 保育園 : 認可
- ・ 小学校 : 公立
- ・ 中学校 : 公立
- ・ 高校 : 公立
- ・ 大学 : 私立  
(自宅外通学)



以上のシミュレーション結果から

- ・ 大金が必要になるのは**大学入学から卒業までの4年間**  
→ 高校卒業時までには貯めておく必要がある
- ・ **最低でも500万円**は必要、普通に考えると**1,000万円程度**は確保しておきたい

どうやって確保する？

- 1、積立貯蓄(普通積立貯蓄、財形貯蓄など)
- 2、学資保険、こども保険
- 3、積立投資信託(NISA)

足りない場合は融資制度を利用する

- 4、奨学金制度
- 5、日本政策金融公庫の教育一般貸付(国の教育ローン)



## (3) 老後資金

### ・老後の暮らし

老後の最低必要な生活費は平均23.2万円/月  
 ゆとりある老後生活費は平均37.9万円/月  
 参考)2024年は平均28.7万円/月



公財)生命保険文化センター 2022(令和4)年度「生活保障に関する調査」

### ・老後の医療

定年後の医療費の平均は約1,600万円 (男性 1,450万円/女性1,703万円)  
 →自己負率1割:160万円、自己負担率3割:480万円



### ・介護にかかる費用

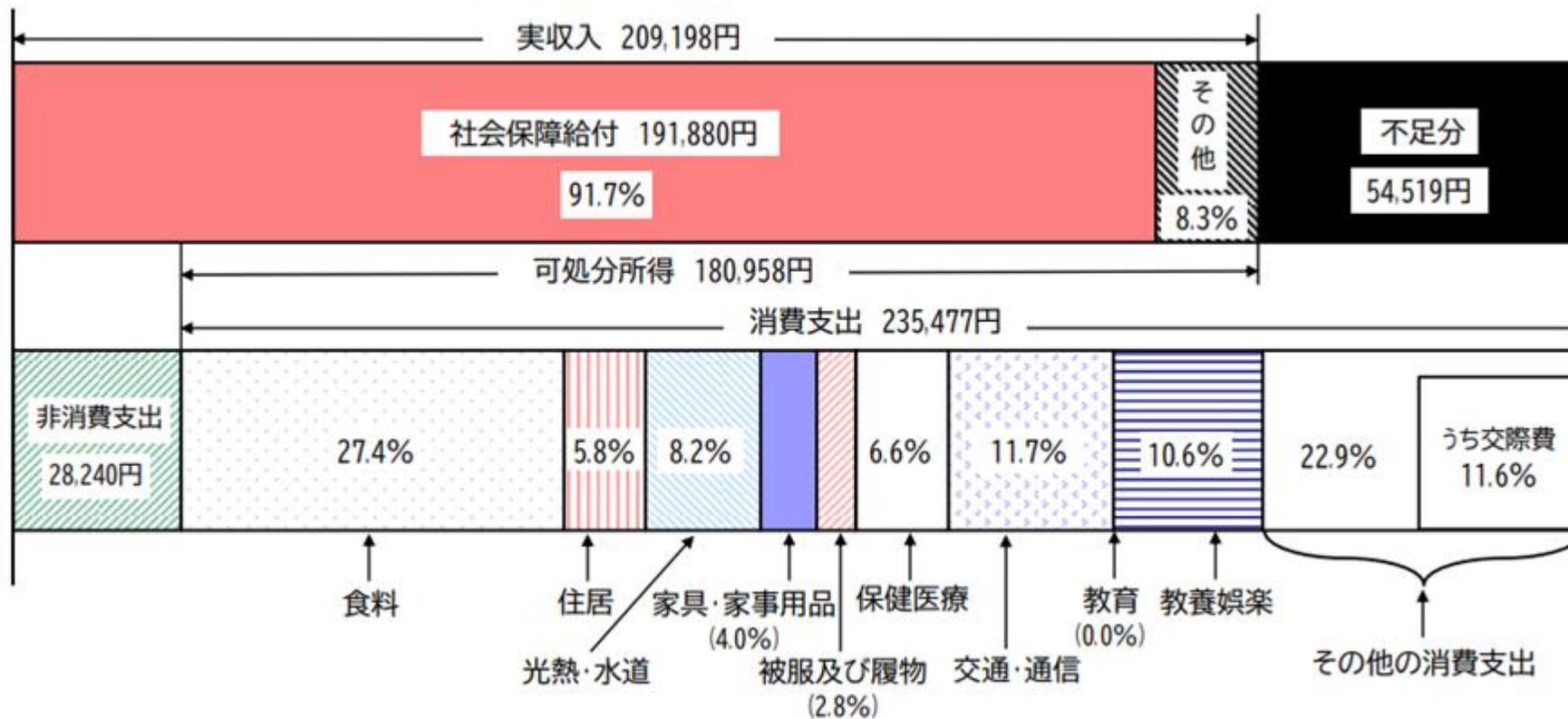
一時的な費用:74万円、月々の費用:8.3万円、介護期間の平均:61.1か月

公財)生命保険文化センター 2022(令和4)年度「生活保障に関する調査」



# 覚えていますか？ 老後資金2,000万円問題

高齢夫婦無職世帯の家計収支 - 2017年 -



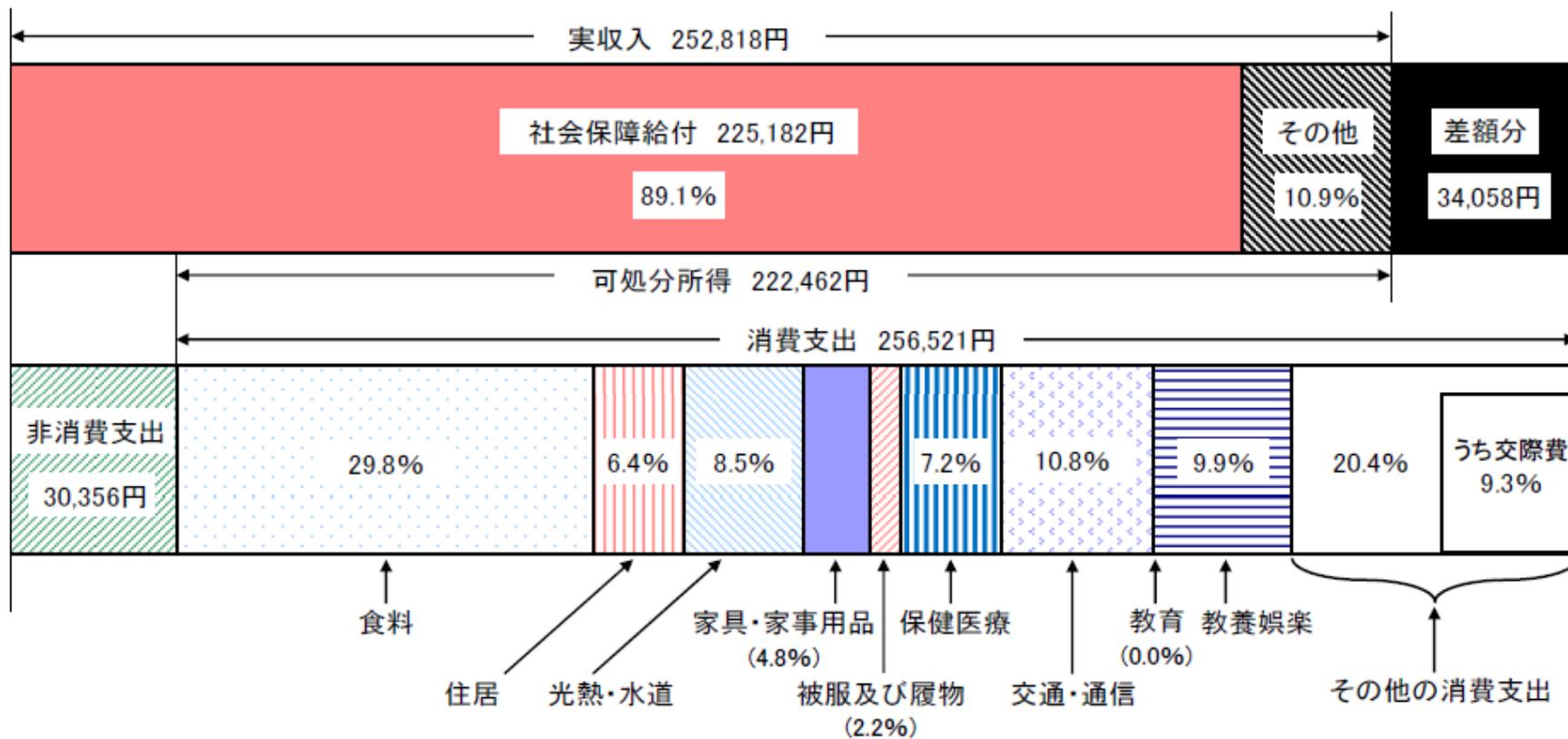
金融庁 金融審議会「市場ワーキング・グループ」の試算

出典：総務省家計調査報告(2017)

収入と支出の差が毎月54,519円 → 平均余命30年分として掛け算 → 1,963万円不足する

# 最新データ(2024年版)では・・・

図1 65歳以上の夫婦のみの無職世帯（夫婦高齢者無職世帯）の家計収支 -2024年-



出展:総務省家計調査報告(2024)

金融庁 金融審議会「市場ワーキング・グループ」の試算に倣って試算すると

収入と支出の差が毎月34,058円 → 平均余命30年分として掛け算 → 1,226万円不足する

- ・ 2017年度データでは不足分は約2,000万円不足と算出
- ・ 2024年度(最新データ)では1,200万円不足と算出
  - あくまでも平均値のお話、その時の経済状況によって左右される
  - **不足額は人それぞれ**(過去の働き方やライフスタイルにもよる)

老後の収入は？

頼りになるのは公的年金

→ **年金額も人それぞれ**

→ ただし、公的年金のみでは不足することは確実です



ライフプランを作成し、いつ・どの位の資金が必要になるのか？を明確にしておく

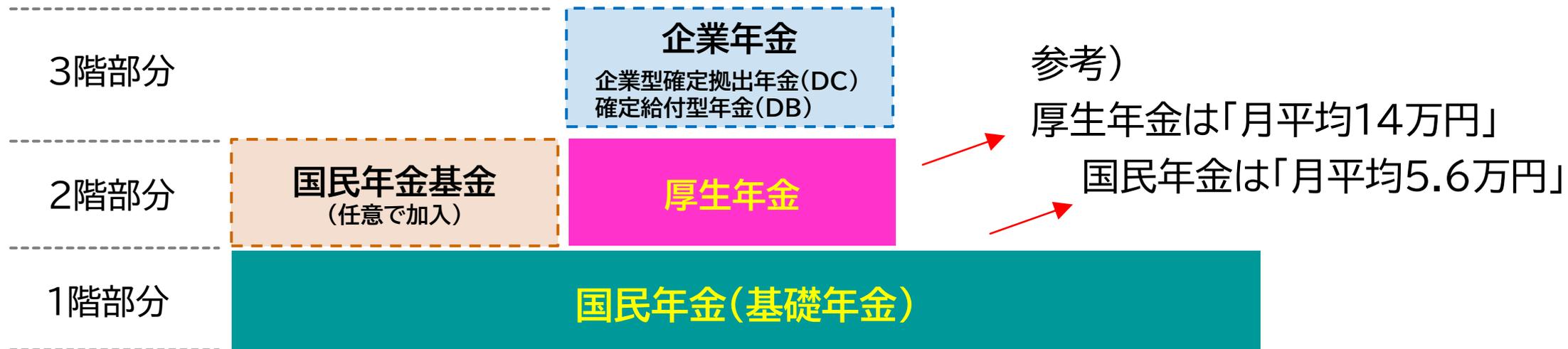
→ 資産運用の目標と方法が明確になる

# 参考) 公的年金のしくみ

## 給付資格

基礎年金: 受給資格期間が10年以上ある場合

厚生年金: 被保険者期間が1か月以上ある



第1号 被保険者

自営業・フリーランス



第2号 被保険者

会社員・公務員

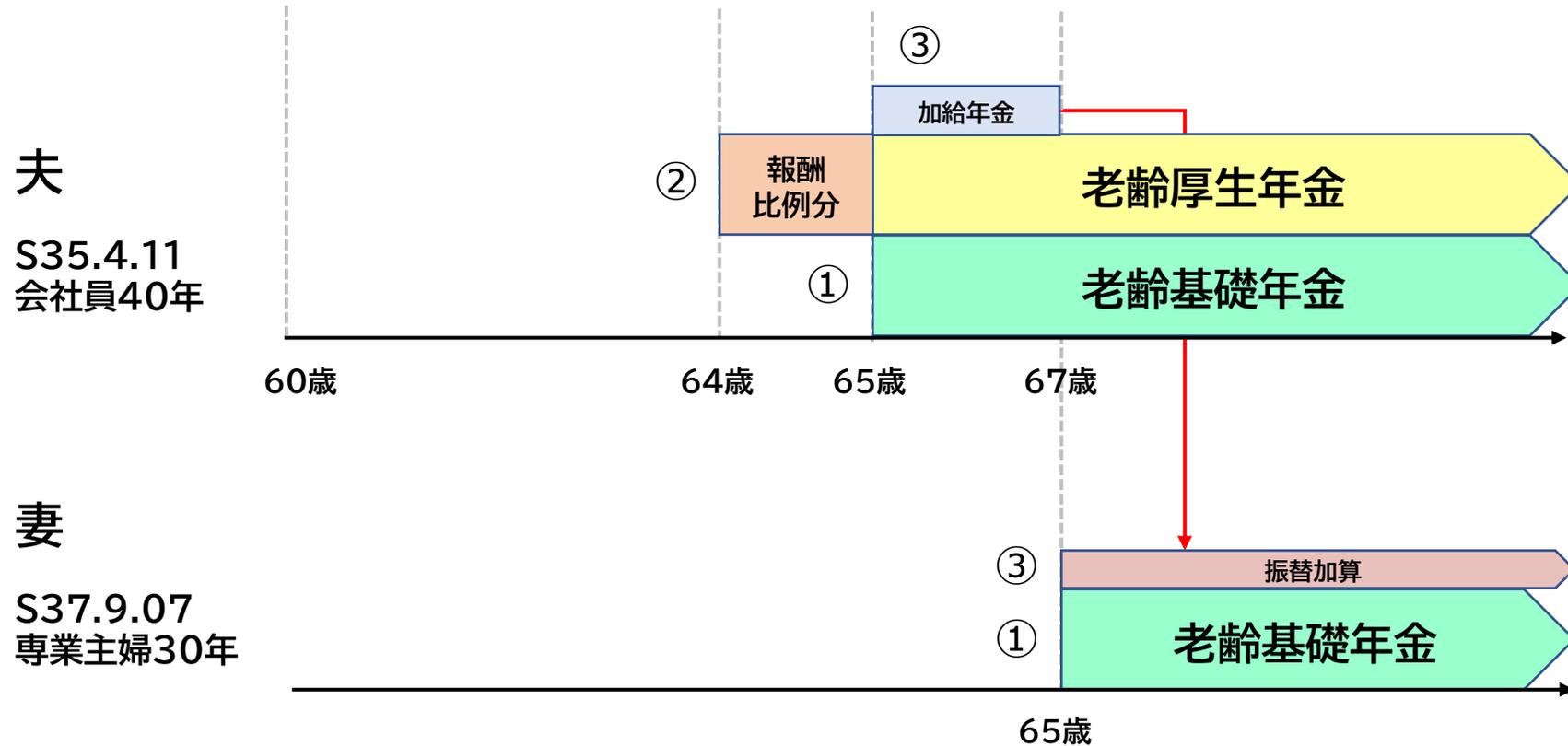


第3号 被保険者

専業主婦など

個人型確定拠出年金  
(iDeCo)のお話は次回

# 公的年金の支給イメージ

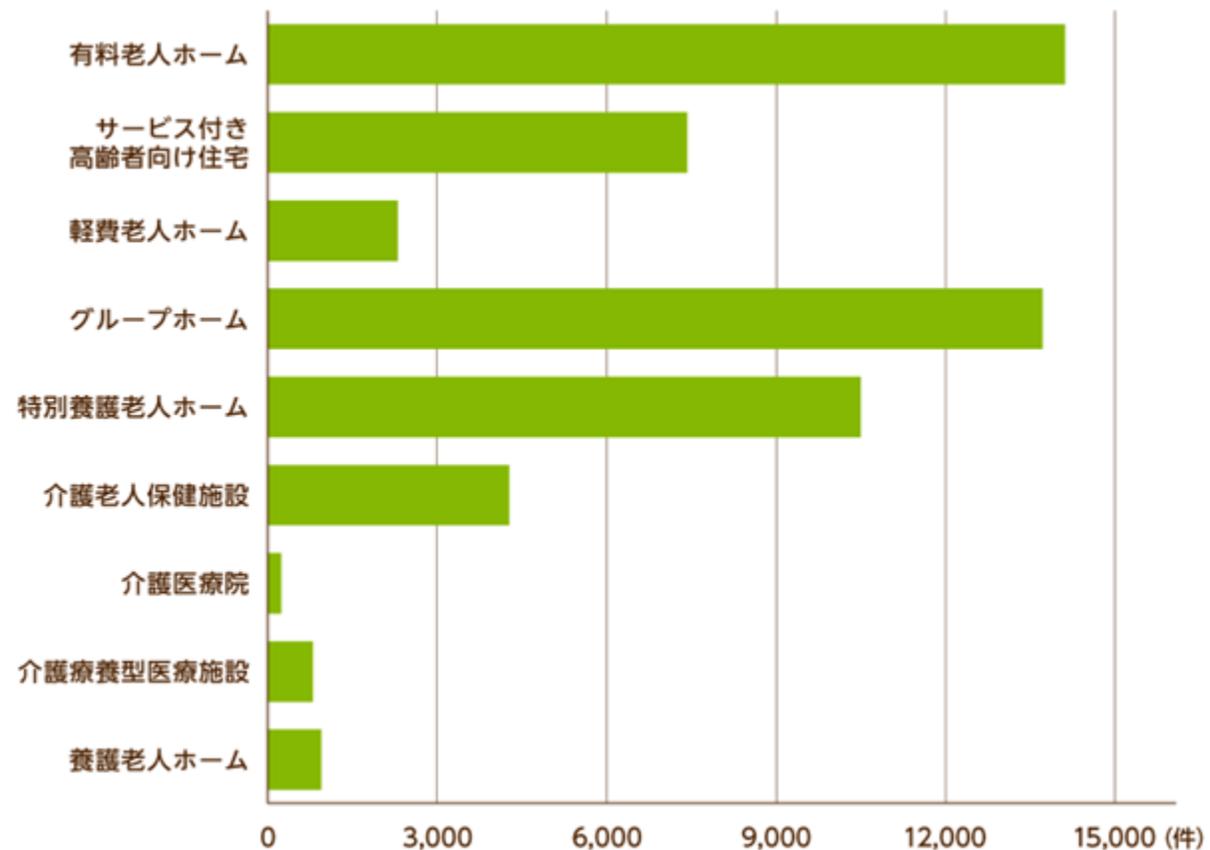


- ① 国民年金と言われる部分：定額部分、老齢基礎年金、経過的加算
- ② 厚生年金と言われる部分：報酬比例部分、老齢厚生年金
- ③ 年金におまけされる部分：加給年金と振替加算

## 参考) 代表的な介護施設の費用(平均)



種類	運営	入居一時金	月額利用料
介護付き 有料老人ホーム	民間	30万円	20.4万円
サービス付き 高齢者向け住宅	民間	10.8万円	15.3万円
認知症対応型高齢者 グループホーム	民間	4万円	12.7万円
特別養護 老人ホーム(多床室)	公的	0万円	10.7万円



出典: 「[高齢者向け住まいの今後の方向性と紹介事業者の役割](#)」 (厚生労働省)

1. 人生100年時代・ライフイベントと必要資金
2. 人生の3大資金
3. 家計チェックとライフプラン
4. 資産運用とは
5. まとめ

# (1) ライフプランとは？

住宅購入や教育費、働き方や、老後の過ごし方など、人生における様々な場面や生き方を、資金面を含めて具体的に計画すること。

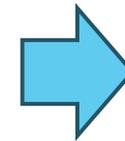


## ライフプランを作るメリット

1. 将来の生活を可視化できる
2. 現在の家計を把握できる
3. 様々なリスクを減らせる



目標の明確化・不安の払拭



効果的な資産運用

## ライフプランの作成方法

- ① 貯蓄力がわかる **家計の収支確認表**
- ② 将来のイベントと費用を考える **ライフイベント表**
- ③ 将来の収支が予想できる **家計のキャッシュフロー表**

ダウンロードURL

<https://daredemo-fp.com/text-dl/>

# ① 家計の収支確認表

「家計の収支確認表」に現在の収入と支出を書き出してみると、自身の貯蓄力がわかる。また、年間収入合計(A)から年間支出合計(B)を差し引いてみると1年間に貯蓄できる額がわかり、家計が赤字/黒字が確認できる。

書き方

- ① 収入金額(額面)を記入する
- ② 所得税、社会保険料、住民税を記入する  
(早見表や給与明細などを参考に)
- ③ 年間の手取り収入を計算する (① - ②)
- ④ 年間の支出を記入し、年間支出合計(B)を計算する
- ⑤ 1年間に貯蓄できる額(A) - (B)を計算する

## 家計の収支確認表

年間収入から年間支出を差し引いてみると、家計が赤字か黒字かがわかります。

### ●年間の収入

既婚者の場合はこちら

収入金額		-	所得税	+	社会保険料	+	住民税	=	年間の手取り収入 (可処分所得)
夫	600 万円		16.6 万円		90.3 万円		27.5 万円		465.6 万円
妻	300 万円		3.6 万円		45.1 万円		8.6 万円		242.7 万円

単身者の場合はこちら

収入金額		-	所得税	+	社会保険料	+	住民税	=	年間の手取り収入 (可処分所得)
	万円		万円		万円		万円		0 万円

年間収入合計 **708.3 万円** **A**

### ●年間の支出

支出項目	内容	毎月の支出①	年に数回の支出②	年間の支出 ①×12+②
基本生活費	食費、水道光熱費、通信費、日用雑貨費、教養娯楽費など	30 万円	0 万円	360 万円
住居関連費	住宅ローン、管理費、積立金、固定資産税など	8 万円	50 万円	146 万円
車両費	駐車場代、ガソリン代、自動車税など	4 万円	10 万円	58 万円
教育費	学校教育費、塾代、習い事の費用など	2 万円	0 万円	24 万円
保険料	家族全員の保険料	2 万円	0 万円	24 万円
その他の支出	レジャー費、交際費、冠婚葬祭費など	1 万円	20 万円	32 万円

年間支出合計 **644 万円** **B**

1年間に貯蓄できる額 **A-B** **64.3 万円**

## ② ライフイベント表

現在の家計状況が把握できたら、  
将来のことも考えてみよう。  
「ライフイベント表」に自分や家族の  
今後10年、20年の予定を書き込んで、  
将来のイメージを具体化しよう。

### 書き方

- ① 家族の年齢を記入する
- ② 考えられるライフイベントを書き出す  
(可能な限り漏れなく)
- ③ 各ライフイベントでかかる金額を記入する

### ライフイベント表

今から20年先までの自分と家族の暮らしをイメージしながら  
先々のライフイベントとかかる費用を書き出してみましょう。

年	家族の年齢				ライフイベント	かかるお金
	父	母	長女	長男		
2025	36	35	6	4		
2026	37	36	7	5	長女小学校入学	入学費用5万円
2027	38	37	8	6	マイホーム購入	頭金500万円
2028	39	38	9	7	長男小学校入学	入学費用5万円
2029	40	39	10	8		
2030	41	40	11	9	自動車買い替え	新車300万円
2031	42	41	12	10		
2032	43	42	13	11	長女中学入学	入学費用10万円
2033	44	43	14	12		
2034	45	44	15	13	長男中学入学	入学費用10万円
2035	46	45	16	14	長女高校入学	入学費用10万円
2036	47	46	17	15		
2037	48	47	18	16	長男高校入学	入学費用10万円
2038	49	48	19	17	長女大学入学	学費等120万円
2039	50	49	20	18		
2040	51	50	21	19	長男大学入学	学費等120万円
2041	52	51	22	20	自動車買い替え	中古車150万円
2042	53	52	23	21		
2043	54	53	24	22		
2044	55	54	25	23	海外旅行	旅費100万円

### ③ 家計のキャッシュフロー表

現在の家計と将来の予定がわかったら、「家計のキャッシュフロー表」を作成し、将来の家計の変化をチェック。このままの家計で夢や目標がかなうのか、家計は赤字にならないか、などさまざまなことがわかる。

キャッシュフロー表

家族ごとのライフイベントや収入・支出を書き出して今後20年間の家計の収支をチェックしましょう。

#### 書き方

① ライフイベント表の内容を書き写す

② 家計の収支確認表を参考に記入する

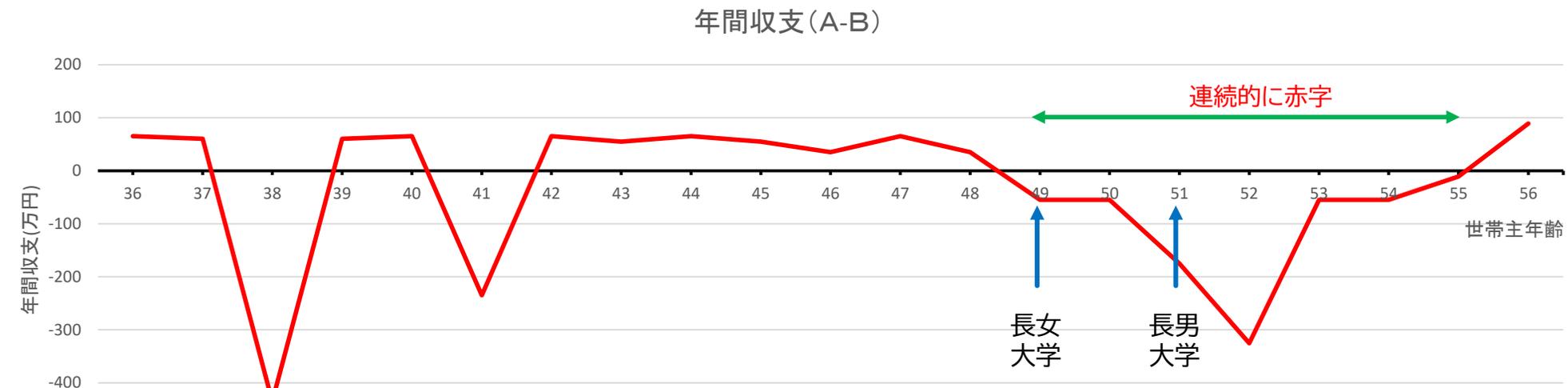
③ ライフイベント表と家計の収支確認表を参考に記入する

④ 年間収支(A-B)を計算する

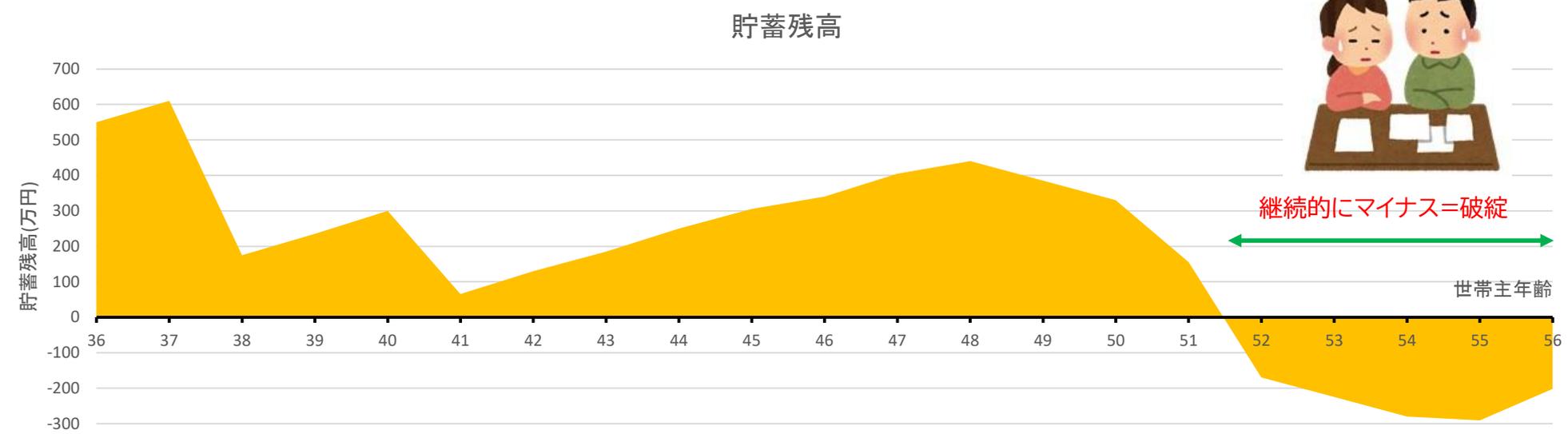
⑤ (A-B)と前年の貯蓄残高を合計する

年	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045
経過年数	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後	11年後	12年後	13年後	14年後	15年後	16年後	17年後	18年後	19年後	20年後
(父)の年齢	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
(母)の年齢	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
(長女)の年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
(長男)の年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
( )の年齢																					
ライフイベント		長女小学校入学	マイホーム購入	長男小学校入学		自動車買い替え		長女中学入学		長男中学入学	長女高校入学		長男高校入学	長女大学入学		長男大学入学	自動車買い替え				海外旅行
(父)の収入	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466
(母)の収入	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243	243
一時的な収入																					
収入合計(A)	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709	709
基本生活費	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360
住居関連費	146	146	646	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146
車両費	58	58	58	58	58	358	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	208	58	58	58	58
教育費	24	29	24	29	24	24	24	34	24	34	54	24	54	144	144	264	264	144	144	0	0
保険料	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
その他の支出	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
一時的な支出																					100
支出合計(B)	644	649	1144	649	644	944	644	654	644	654	674	644	674	764	764	884	1034	764	764	720	620
年間収支(A-B)	65	60	-435	60	65	-235	65	55	65	55	35	65	35	-55	-55	-175	-325	-55	-55	-11	89
貯蓄残高	550	610	175	235	300	65	130	185	250	305	340	405	440	385	330	155	-170	-225	-280	-291	-202

年間収支と貯蓄残高をグラフにしてみると良く分かりますよね。



目標:48歳までに十分な教育資金を確保する



1. 人生100年時代・ライフイベントと必要資金
2. 人生の3大資金
3. 家計チェックとライフプラン
4. 資産運用とは
5. まとめ

# 資産運用とは？

自分の持っているお金(資産)を預貯金や投資に配分(運用)することで効率的に増やすこと

## 預貯金

- ・確実
- ・低金利(増えない)
- ・元本保証有り



- 普通預金
- 定期預金
- 積立定期預金 など

今回はこちらがメインのお話

## 投資

- ・高利回り(増える)
  - ・元本保証無し
- ↓
- ・失敗したら大損
  - ・怖い・・・
- ↓

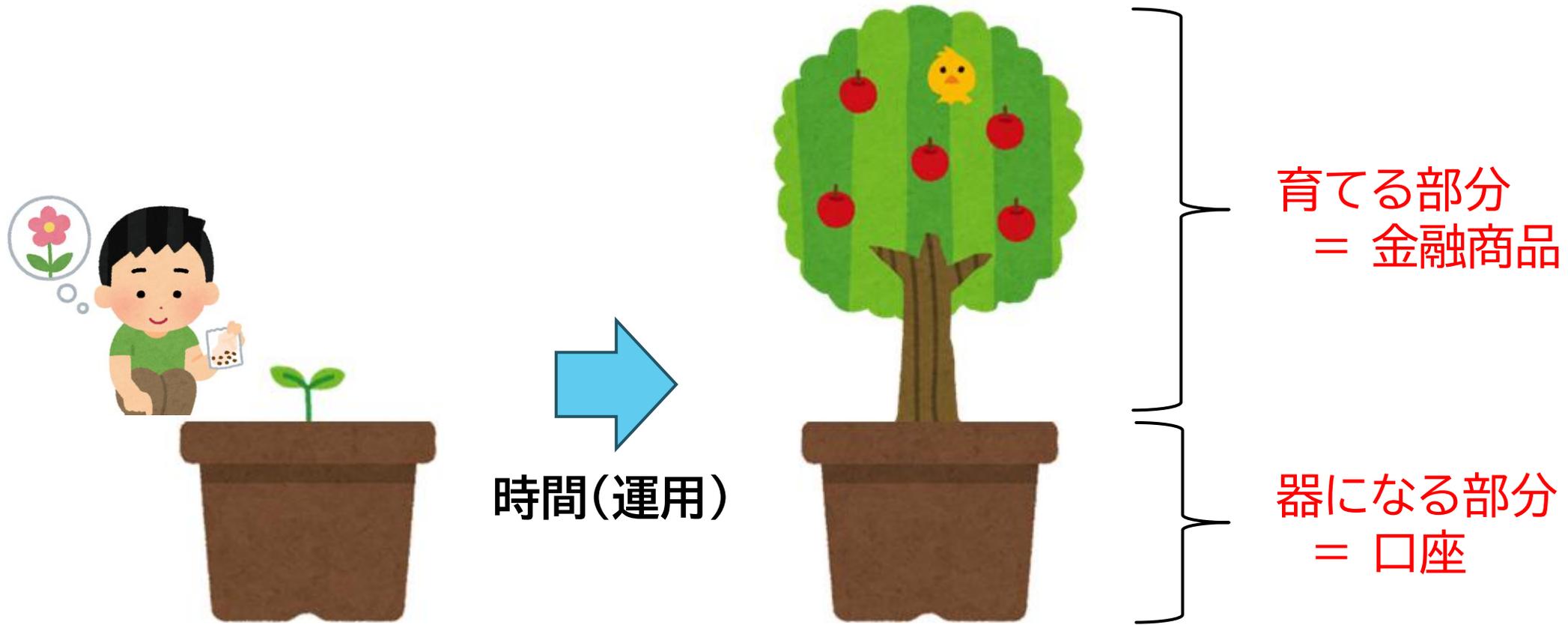
投資と投機の違い

→ 第2回以降で・・・



- 株式
- 債券 (国債・地方債など)
- 投資信託 など

# 投資を植物の生長に例えると



- ✓ 金融商品とは  
 金融機関が提供・仲介する各種の預金、投資信託、株式、社債、公債、保険などのこと
- ✓ 口座とは  
 証券会社などの金融機関で株式や投資信託などの投資商品を買う時に必要となる箱

# 証券口座：証券を売買する為の口座

## 1. 一般口座

自分で年間の取引の損益を計算し確定申告する必要があるので面倒



## 2. 特定口座

金融機関が年間の取引の損益を計算。「源泉徴収あり」と「源泉徴収なし」の2種類  
「源泉徴収あり」=納税(税率20.315%)は金融機関が行うため、確定申告をする必要はない



## 3. NISA(少額投資非課税制度)口座

得られた利益が、一定条件のもとで非課税となる制度  
2024年から新制度(新NISA)が開始



## 4. 確定拠出年金

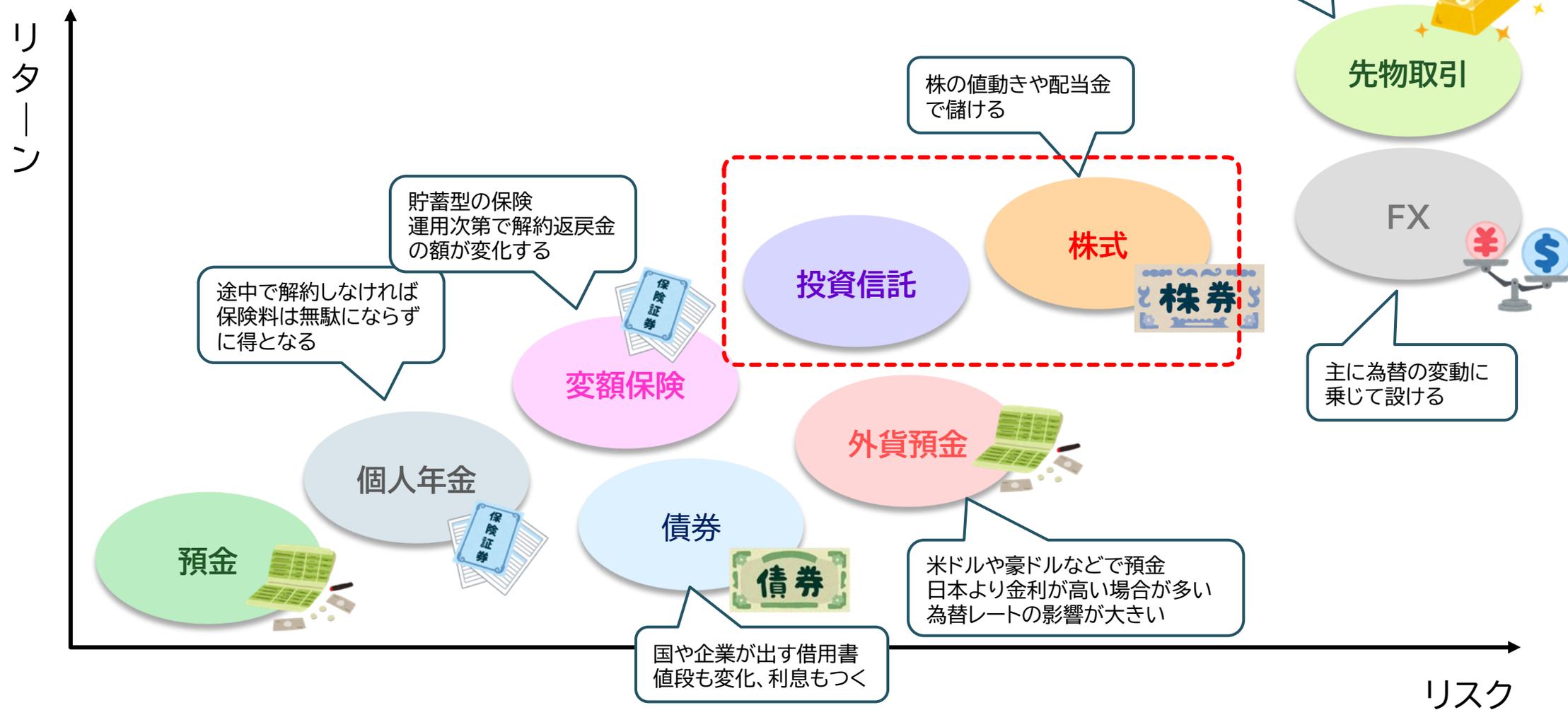
企業型(DC)と個人型(iDeCo)の2種類



… 第2回:10月27日(月)



# 代表的な金融商品



NISAやiDeCoで扱える金融商品の詳細なお話・・・ 第3回:11月17日(月) / 第4回:12月3日(月)

## 5. まとめ

- ・ 人生100年時代の老後資金づくりのための「資産運用」が注目されている
- ・ 老後以外(住宅資金、教育資金など)にも多額の資金が必要
- ・ 公的年金のみでは老後資金は不足する
- ・ ライフプランを作ると資産運用の目標が明確になり、効果的な資産運用が可能になる
- ・ ライフプラン作成の第一歩は家計の状態を把握すること
- ・ 資産運用には投資が有効
- ・ 資産運用では器になる部分と育てる部分を理解する



次回

第2回:10月27日(月)

資産運用の第一歩！制度を味方にするお金の始め方  
～ NISA・iDeCoのしくみと活用法 ～

ご清聴  
ありがとうございました



持ち物)

- ・ 筆記用具      ・ 電卓
- ・ 家計の収支確認表   ・ ライフイベント表   ・ キャッシュフロー表

→任意(記入できた方)

資料・帳票のダウンロードURL

<https://daredemo-fp.com/text-dl/>

